

株主の皆様へ

第31期報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

Business Report

KYORITSU
共立印刷株式会社



証券コード：7838



埼玉本庄工場全景

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

なお、ここに当社の第31期報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援とご厚情に心から感謝申し上げますとともに、当社の概況につきましてご報告申し上げます。

営業の概況につきましては、別掲のとおりでございますが、当連結会計年度の業績は、売上高301億9百万円（前連結会計年度比7.0%減少）、営業利益9億8千3百万円（前連結会計年度比18.7%増加）、経常利益7億7千万円（前連結会計年度比19.1%増加）、当期純利益4億2千2百万円（前連結会計年度比38.9%増加）となりました。

外需拡大や経済対策効果により景気に回復の兆しが見られましたものの、震災により先行きに不安を抱えた経済状況の中、当社におきましては、新たに多品種・小ロット案件に対応した印刷に取り組むとともに、製造工程の管理を徹底し原材料費の削減などに努め、収益の向上を図りました。今後は、オフセット輪転印刷機の生産能力を活かした拡販活動を継続するとともに、UV8色印刷機やオンデマンド印刷機といった幅広い営業活動により売上の拡大に努めてまいります。

なお、期末配当金につきましては、1株当たり2円50銭とさせていただきます。

次期（平成24年3月期）の連結業績につきましては、売上高305億円、営業利益11億5千万円、経常利益8億6千万円、当期純利益4億7千万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



代表取締役会長兼CEO
野田 勝憲



代表取締役社長兼COO
倉持 孝

CONTENTS

株主の皆様へ	1	連結財務諸表	7
連結業績ハイライト／トピックス	2	環境への取り組み	9
営業の概況	3	会社概要／株式の状況	10
特集	5		

連結業績ハイライト



TOPICS

本庄第3工場で、UV8色印刷機・オンデマンド印刷機が稼動を開始



9つの印刷ユニットを組み合わせて多様な高品質印刷を行う「UV8色印刷機」



必要な物を・必要なだけ・必要なときに印刷する「オンデマンド印刷機」

本庄第3工場では、オフセット輪転機ではできなかった特殊な表面加工など表現力豊かな印刷関連設備が稼動を開始いたしました。UV8色印刷機、オンデマンド印刷機に加え、オンデマンド印刷対応の中綴製本機・無線綴製本機、さらにはカッティングマシンやラミネーター機など充実した設備が1つの工場に集結しています。



オンデマンド印刷対応の加工機が集結



埼玉本庄工場敷地内に完成した「本庄第3工場」

営業の概況

当期の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新興国などの外需に支えられ、輸出産業を中心に回復傾向が見られましたものの、年度末の東日本大震災の影響により、先行きが不透明な状況となっております。

当印刷業界におきましては、個人消費の鈍化や長期的なデフレ基調により、広告販促費等が依然回復しないという状況に加え、紙媒体に替る電子書籍端末や高機能携帯電話の普及により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

そのような中で、当社は、従来のオフセット輪転印刷機に加え、多品種・小ロット印刷を可能にするオンデマンド印刷機、更には色鮮やかな印刷を可能にするUV平台印刷機を

導入することにより、バリアブル印刷など新たな市場ニーズに対応し拡販活動を進めてまいりました。併せまして、収益率の向上を図るため、前期に引き続き収益プロジェクトの活動を通し、物流費や原材料費などの削減といった施策により、コスト管理及び収益向上に努めております。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高301億9百万円（前期比7.0%減少）、営業利益9億8千3百万円（前期比18.7%増加）、経常利益7億7千万円（前期比19.1%増加）、当期純利益4億2千2百万円（前期比38.9%増加）となり、減収・増益となりました。

製品種類別概況

商業印刷

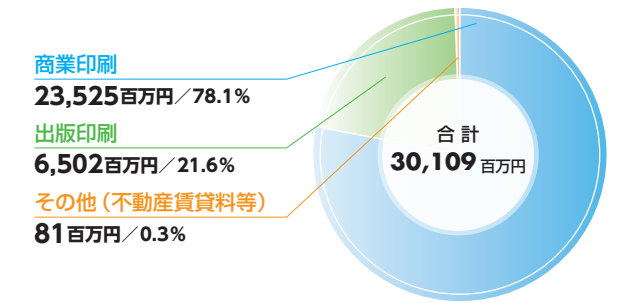
商業印刷につきましては、量販店チラシにおいて部数やサイズの増加はありましたものの、カタログ類のページ数減少や流通チラシのサイズダウンなどにより、売上高は21億1千9百万円減少し、235億2千5百万円（前期比8.3%減少）となりました。

出版印刷

出版印刷につきましては、フリーペーパーなど一部の案件において受注額の増加がありましたものの、旅行雑誌や情報雑誌の部数の減少などにより、売上高は1億2百万円減少し、65億2百万円（前期比1.6%減少）となりました。

その他

その他売上につきましては、不動産賃貸料が減少したことにより、売上高は2千7百万円減少し、8千1百万円（前期比25.3%減少）となりました。



商業印刷

チラシ／通販カタログ／商品カタログ／
各種パンフレット／機器取扱説明書／POP／店舗装飾品

■当社設備とのマッチング

- BT輪転機12台：折込チラシ・タブロイド紙などB判の印刷物
- AY輪転機16台：通販カタログなどA4判の印刷物
- BY輪転機2台：取扱説明書などB6判の印刷物
- オンデマンド印刷機2台：ダイレクトメール・名刺など
- ラッピング機1台：通販カタログ

出版印刷

書籍／雑誌／地図／定期刊行物／
教科書／情報誌／フリーペーパー

■当社設備とのマッチング

- AY輪転機16台：月刊雑誌などA4判の印刷物
- AT輪転機2台：ゲーム攻略本・地図などA5判の印刷物
- BT輪転機12台：情報誌・フリーペーパーなどAB判の印刷物
- UV8色印刷機1台：特殊印刷、プラスチックへの印刷など
- 無線綴り機6台：定期刊行物などメルトでの製本
- 中綴り機20台：フリーペーパーなどステッチでの製本

2011年、オフセット輪転印刷専門会社から「総合印刷会社」へ。

本庄第3工場にお客様の多品種・小ロットの印刷需要に応える新鋭機が集結しました。これまでにない美しい

UV印刷、PODで印刷の可能性が広がります。

仕上がりで、新感覚な印刷、そして表現力のある印刷を追求します。

●グロス/マット/エンボスニス

ニスにより印刷に高級感を演出します。



つやを出すグロスニス



つやを消すマットニス

●箔押し印刷

多様な色に光り輝くメタリックな印刷を行います。



金色や銀色の印刷



グラデーションも自在

●盛り上げ印刷

凹凸のある印刷で物体の立体感を再現します。



本物を触っているような感触に

●透かし印刷

クリアトナーで背景に自由なデザインを施します。



一見普通の紙に透明な模様が浮き上がります

UV8色印刷機

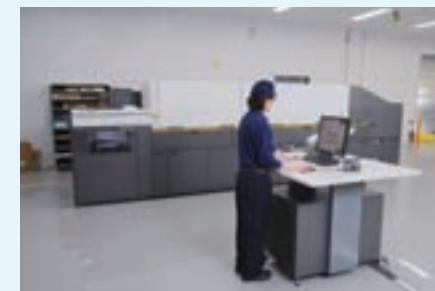
ポスターやパッケージなどの印刷に、視覚や触覚に訴える仕掛けを施すことで人目を引き、記憶に残る印刷を行います。クリアファイルなどプラスチックへの印刷も可能です。



9つの印刷ユニットで高品質印刷を行う「UV8色印刷機」

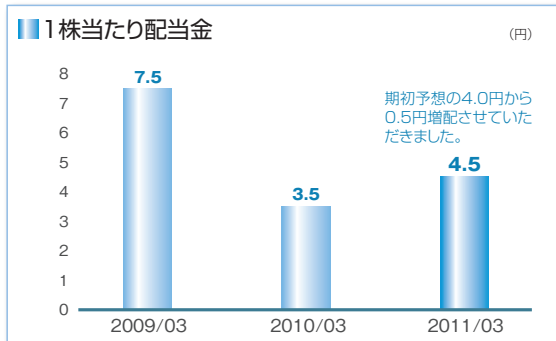
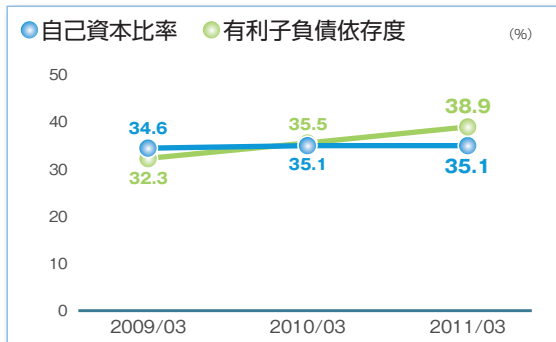
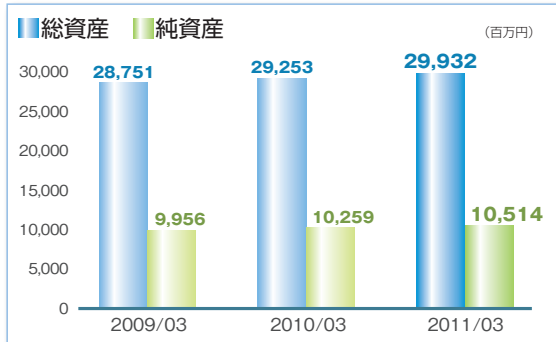
オンデマンド印刷機

ダイレクトメールでは、宛名印刷と同時に最適な文章や画像をセレクトし、1枚1枚にパーソナルな印刷を行うことができます。写真集の印刷も1冊から行っています。



盛り上げ印刷など特殊加工も可能な「オンデマンド印刷機」

連結財務諸表



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第31期(当期) 平成23年3月31日現在	第30期(前期) 平成22年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	12,453	13,591
固定資産	17,479	15,662
有形固定資産	15,597	13,847
無形固定資産	99	79
投資その他の資産	1,783	1,735
資産合計	29,932	29,253
(負債の部)		
流動負債	10,631	11,153
固定負債	8,786	7,840
負債合計	19,417	18,994
(純資産の部)		
株主資本	10,267	10,012
資本金	2,511	2,511
資本剰余金	2,505	2,505
利益剰余金	5,251	4,995
自己株式	△ 0	—
その他の包括利益累計額	246	246
その他有価証券評価差額金	246	246
純資産合計	10,514	10,259
負債純資産合計	29,932	29,253

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第31期(当期) 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日	第30期(前期) 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
売上高	30,109	32,359
売上原価	26,820	29,155
売上総利益	3,288	3,204
販売費及び一般管理費	2,305	2,375
営業利益	983	828
営業外収益	40	40
営業外費用	252	221
経常利益	770	647
特別利益	23	0
特別損失	58	77
税金等調整前当期純利益	735	569
法人税、住民税及び事業税	287	265
法人税等調整額	26	0
少数株主損益調整前当期純利益	422	—
当期純利益	422	303

連結株主資本等変動計算書

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の 包括利益累計額 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
前期末残高	2,511	2,505	4,995	—	10,012	246	10,259
当期変動額							
剰余金の配当			△ 166		△ 166		△ 166
当期純利益			422		422		422
自己株式の取得・処分				△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 0	△ 0
当期変動額合計			255	△ 0	255	△ 0	255
当期末残高	2,511	2,505	5,251	△ 0	10,267	246	10,514

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第31期(当期) 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日	第30期(前期) 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,217	1,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,026	△ 1,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 938	533
現金及び現金同等物の増減額	△ 747	551
現金及び現金同等物の期首残高	7,247	6,696
現金及び現金同等物の期末残高	6,499	7,247

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、12億1千7百万円(前連結会計年度比2千4百万円の増加)となりました。これは、売上債権の減少に加え、税金等調整前当期純利益の計上、減価償却の実施等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、10億2千6百万円(前連結会計年度比1億4千7百万円の増加)となりました。これは、工場の設備投資等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、9億3千8百万円(前連結会計年度比14億7千1百万円の減少)となりました。これは、長期借入金の返済や配当金の支払等によるものであります。

環境への取り組み

環境格付についてのご報告

平成22年12月20日に、株式会社日本政策投資銀行より、当社の環境経営を評価していただき、「DBJ環境格付」を受けました。

環境格付とは？

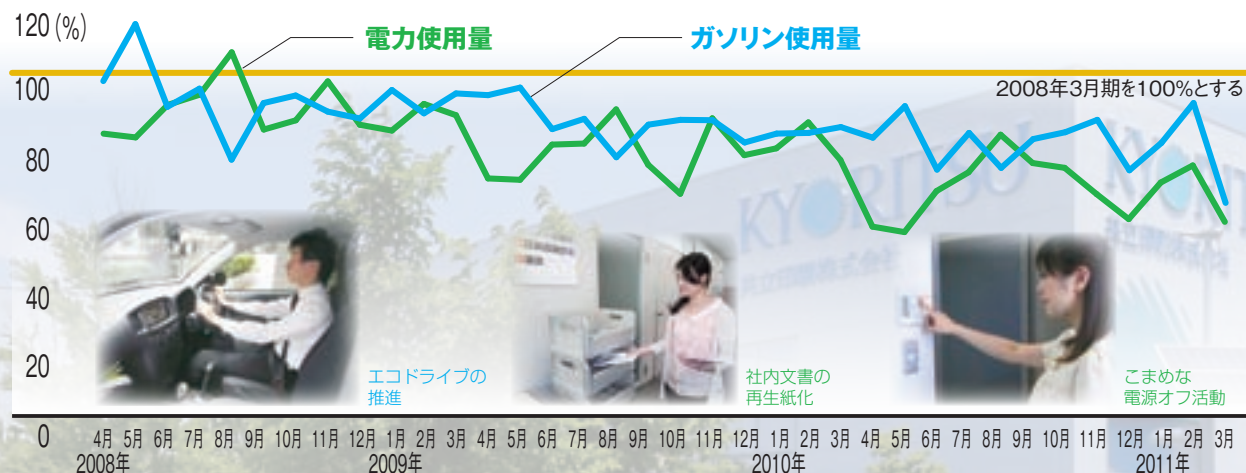
(株)日本政策投資銀行が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという、融資メニュー。



(株)日本政策投資銀行の水野部長(右)より証書を授与される野田会長(左)

本社では、2011年3月期のCO₂排出量を2008年3月期比32.9%削減いたしました。

当社は2008年よりCO₂削減プロジェクトを発足し、こまめな電源オフ、クールビズ・ウォームビズによる適切な冷暖房設定、両面コピーや資源回収など、全社員でCO₂削減に取り組んでいます。また、環境省の「チャレンジ25」にも参加しています。



会社概要 平成23年3月31日現在

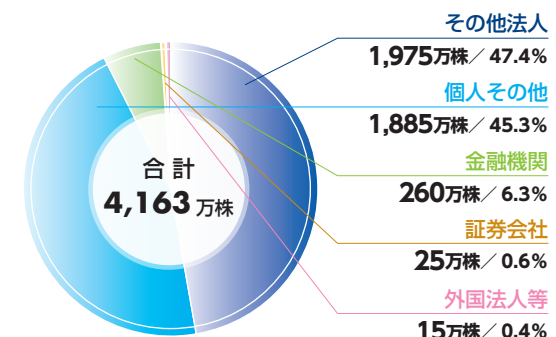
会社概要	
本社所在地	東京都板橋区清水町36番1号
設立年月日	昭和55年8月1日
資本金	25億1,135万円
従業員数	461名
工場	<ul style="list-style-type: none"> ■本庄第1工場・本庄第2工場・本庄第3工場 埼玉県本庄市いまい台1丁目32 ■製本第1工場 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美1600-13 ■製本第2工場 埼玉県本庄市いまい台2丁目74 ■製本第3工場 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美1424-1
営業所	札幌／名古屋／大阪／高松
子会社	(株)共立製本マーケティング

役員構成 平成23年6月29日現在		
代表取締役会長	野田 勝憲	最高経営責任者 (CEO)
代表取締役社長	倉持 孝	最高執行責任者 (COO)
常務取締役	木村 純	管理統括
取締役	中井 哲雄	第2製造本部長
常勤監査役	川尻 建三	
監査役	秋沢 志篤	ヒーローズエデュテイメント(株)代表取締役会長
監査役	窪川 秀一	公認会計士・税理士
執行役員	平川 清三	第1営業本部長
執行役員	狩野 博紀	第2営業本部長
執行役員	佐藤 尚哉	管理本部長

株式の状況 平成23年3月31日現在

株式の状況		
発行可能株式総数	130,720,000株	
発行済株式総数	41,630,000株	
株主数	4,419名	
大株主		
株主名	持株数 (万株)	持株比率 (%)
野田 勝憲	659	15.8
(有)ウエル	658	15.8
東京インキ(株)	219	5.3
(株)小森コーポレーション	203	4.9
井奥 貞雄	113	2.7
共栄会	112	2.7
(株)ベルーナ	100	2.4
(株)プロトコーポレーション	100	2.4
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	91	2.2
共立印刷社員持株会	77	1.9

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 (中間配当を実施する場合)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター) TEL.0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.kyoritsu-printing.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

但し、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。